# 大阪市教

2025年 2月6日
VOL. 621
（一部30円。 購読料は組合費に含む）

**春闘宣言集会**
**2月20日**
国労会館


発行　大阪市学校園教職員組合　大阪市中央区法円坂1－1－35（大阪市教育会館内）
TEL 6910-8700 https://osaka-shikyo.org/
FAX 6910-7990 E-mail o-sikyo1@sea.plala.or.jp


市労組連

## 妊娠障害休暇14日実現

### 臨任、会計年度 病気休暇有給化

市労組連は1月16日労働条件等の項目について交渉で回答をえました。給与改定に関わる項目は24年11月8日に実施。

人事課長が妊娠障害の期間、日数について、「1回の妊娠を通じて、14日（休日は通算しない）。取得単位は1日単位」、25年4月1日実施と回答しました（現行は「1回の妊娠を通じて連続した7日（休日は通算しない）。ただし、特に必要と認められる場合は、7日の範囲内において1日単位で取得することも可）。

大阪府から大阪市への教職員人事給与制度の権限移譲（2017年）時からの要求が実現し喜びの声が上がりました。大阪市教女性部長は働く者の体・健康への対応を評価。同時に生理休暇が取得しずらい実態があり、将来の妊娠にも問題となるとし、引き続き、子どもを産み育てることに関わる権利の拡大、改善を求めました。

○子の看護等休暇…子の行事参加（入園式・入学式、卒園式・卒業式）等に利用可。
○会計年度任用職員の子の看護等休暇、出生サポート休暇、短期介護休暇の6月以上の任期又は継続勤務の取得条件廃止。
○臨時的任用職員及び会計年度任用職員の病気休暇…無給から有給とする。

市労組連は生理休暇の有給化、病気休暇の付与日数の拡大を強く求めましたが実現しませんでした。

配偶者の扶養手当（現行6500円）が廃止されます（25年度は経過措置3千円）。子は25年度1万1500円、26年度1万3千円。

非常勤講師の授業1時間当たりの報酬単価は2920円から3010円に改定。実施時期は期末・勤勉手当支給対象者は24年4月1日（遡及あり）、支給対象外は25年2月1日。

会計年度任用職員の再度の任用回数の上限が雇用不安を広げメディアも取り上げました。国の期間業務職員（非常勤）の上限が撤廃され、総務省のマニュアルも改訂されました。市労組連は上限撤廃を強くもとめましたが、「研究していきたい」にとどまりました。

市労組連は中央委員会（3月5日）で春闘要求書を確定。提出し残された課題の実現を求めます。

## 万博 危険がいっぱい 遠足やめた方がいい

大教組新春学習会が1月6日開かれ、藤永のぶよさんが「軟弱地盤・汚染土壌・大阪湾断層帯…夢洲には危険がいっぱい。事故が発生したら？『責任は校長』だそう」と題して講演を行いました。

「万博遠足…やめた方がいい」として、①到着するまでが大変…渋滞・混雑・規制だらけ。②第1駐車場は危険なところ（有毒な焼却灰と飛灰埋立、土50㎝乗せただけ）。③暑い！暑い！陰がない。④休憩所もあぶない（壁なく強風、雨の日は濡れる）。⑤うっかり座られへん（ヒアリ、地面からメタンガス）。⑥円形リング―雷・津波・雨・風に弱い（水がしみ込む、貫工法はぐさぐさに緩む、屋上の手すりが避雷針でリング上は危険、津波避難場所ではない）。⑦その上、何が見れるかわからへん。火星の隕石？…科学館にある。人間洗濯機？…シャワーやし。135mの回転ずし？行けへん。パビリオンは全部予約やよ。⑧折角行ったのに、はよ帰れと言われる。

上水道、下水道、食品監視について大阪市健康福祉局との懇談で分ったことは、肝心なことは万博協会の内部情報で「わからない…」。医療施設8カ所中医師駐在は3カ所、ドクターヘリは空飛ぶクルマ予定地に。

中央区
教育懇談会

## 一泊移住やめ万博遠足 心を休めに保育園に

中央区新日本婦人の会の「教育懇談会」が2月1日に行われ21人が参加しました。

参加者が大阪市の教育についての思いを出しい、大阪市教三木書記次長がその思いに答える形で報告をしました。

子どもたちの様子、新型コロナと「オンライン授業」、教職員の働き方、英語教育、詰め込みすぎの授業時間数、教職員の精神疾患・病気休職の急増、不登校、学校給食、障害児教育、万博遠足などについて、地域の人や保護者と交流をしました。

「来年度は、バス不足で中1の一泊移住がなくなり、代わりに万博に行くことになった」（保護者）、「卒園した園児が小学生になっても心を休めに保育園に来る。5年生の卒園児が友達を誘って一週間ぐらい遊びに来ていた」（保育士）、「不登校の子どもたちは地域の民間施設が居場所になっている。小学校は人手不足で対応を断られた。中学校の方がまだ手厚い」（不登校児の保護者）、「大阪市の先生の大変な忙しさがわかった」など、様々な意見がだされ交流しました。

熊取町参加見送り

## 「小学5年が荒れている」 教育の営利化さらに

大阪労連・城北地域労働組合総連合は1月31日、城北労連旗開きを行いました。「いま大阪市の子どもたちは」と題して、大阪市教宮城委員長が報告しました。

小中学校の不登校が最多の34万人となり、大阪市の中学校の在籍率が9・6％となりました。「小学校5年生が荒れている」と言われています。20年のコロナ禍・全国一斉休校で、4月に小学校の生活が始まらず、授業が始まれば、20年実施の学習指導要領の内容が急いで詰め込まれました。いまメディアでも「詰め込みすぎカリキュラム」（カリキュラム・オーバーロード）が指摘されるようになりました。

20年から経産省が「EdTech導入補助金事業」を開始し、20年度補正予算で文科省GIGAスクール構想が増強（一人1台端末の配布時期の前倒し）されました。

「教育で儲ける」営利化と国家主義・道徳教育「戦争する国民」づくりが同時に強化されています。

23日付で配布しました。交野市は学校単位での参加はしないと表明し、貝塚、吹田、摂津、池田市は、招待事業の不安要素払拭、再検討、安全対策強化を求める意見書を可決しました。

やめてんかカジノ・万博パレードが3月23日予定されています。

## 仲間が増えた！

### 交流の輪を広げ大教済加入

東南・東部支部の新年会。組合員だけでなく、今までつながりのあった方にも声をかけて参加者を増やして盛況となりました。数年前まで勤務していたAさんは、「私のことを忘れないで、誘ってもらってとてもうれしい」と喜ばれていました。話題は大教済に。「前から興味はありました。他と比べても大教済の中身は充実していますね」と、加入。旧知のつながりを大切にしている支部の大きな成果です。Bさんは週案をパソコンで効率よく作成する術を教えてもらえました。

身近にある問題を見過ごさず、声を上げていくことを大切にしましょう。そして「あなたも一緒に」と仲間を増やす取り組みを進めましょう！

*教え子を再び戦場に送るな！*